

令和 4 年 度
市民との協働によるまちづくり提案事業
成果報告会・意見交換会



令和 5 年 6 月 24 日(土)
おりなす八女 はちひめホール

成果報告会・意見交換会次第

日時：令和 5 年 6 月 24 日 13：30～

場所：おりなす八女 はちひめホール

1. 開会
2. 主催者あいさつ
3. 成果報告
4. まとめ
5. 情報交換会
6. 閉会

令和4年度 市民との協働によるまちづくり提案事業

	団体名	事業名	ページ
①	ひまわりの会 八女・筑後	みんなちがって みんないい事業	
②	星野未来塾	星野村で星空マスター（仮称）を育てよう	
③	yame-C-style	あんどん 2022	
④	おちゃねこ八女	幸せねこプロジェクト	
⑤	ミニバラ八女津媛の会	ミニバラ八女津姫を広めるプロジェクト	
⑥	資源を活かして原料から 作ってみる会	八女の土で器を作って楽しもう	
⑦	八女徐福会	舞台から八女の徐福文化を発信する —徐福八女長寿茶山踊りと商品開発—	
⑧	特定非営利活動法人 山村塾	八女茶山おどりプロジェクト	
⑨	一般社団法人 八女青年会議所	未来へつなぐスイートコーン ～僕たちを繋ぐモロコシファーム～	
⑩	郡役所シネマスイッチ	第1回郡役所まつり 八女を楽しく知ろう！「こままわししろう」展	
⑪	八女上陽の「ひふみよ橋」 を守る会	宮ヶ原橋（4連石橋）架設100年記念事業	

あんどん 2022

～ yame-C-style ～

1. 団体について

○設立目的

お盆に提灯の灯りを通して

先祖を敬う心と提灯の歴史ある伝統技法を守りたい

提灯業界に携わる若手メンバー（50歳未満）で設立
【構成員 9名】 【設立年月 平成30年11月】

○活動実績

- 【提灯展示】
 - ・九州国立博物館（R1.11～R2.10）
 - ・福岡県庁よかもん広場（常設）
- 【その他】
 - ・オリンピック公認の『八女提灯』を販売 など

2. 活動の内容

○目的

八女提灯の魅力とお盆提灯の意義を発信し、

提灯への興味関心を引き立て、先祖を供養する文化を広める

○活動の概要

- ☐ 提灯・盆提灯の展示、販売
- ☐ 提灯の絵付け体験
- ☐ 提灯張り、提灯絵付けの実演
- ☐ スタンプラリー

令和4年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

○活動のスケジュール

日程	活動内容	参加人員
4月 22日	イベント実行委員会	9人
5月 6日		9人
12日		9人
23日		9人
27日	あんどん2022	500人
28日		700人
29日		550人

◇スタンプラリー参加者 197人
◇絵付け体験参加者 160人

令和4年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

○活動の様子 ～活動PR用提灯の制作～



yame-C-style

令和4年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

○活動の様子 ～八女福島の町並みと提灯～



yame-C-style

令和4年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告

○活動の様子 ～提灯の展示や絵付け体験など～



yame-C-style

3. 活動の成果

- 絵付け体験は全時間枠満席となった点
- 小学生から年配者、家族連れや友人同士やカップルなど、幅広い層の来場者にお越しいただいた点
- 2回目の開催で、リピーターに加えて初めてお越しの来場者が多くいた点
- 提灯以外に地域の方の協力でマッサージや虫よけスプレーづくりコーナーも設けたことで、滞在時間を長く取ってもらえたことでイベントとして認識していただけた点

4. 活動の課題

- 新型コロナウイルスの為に開催の可否の判断が遅れ、告知しづらかった。
- 前回とほとんど似た内容になっている。
- 来場者の感想を聞く機会がない。
- ポスターの紙媒体の告知と合わせてSNSの発信をする。
- より魅力あるイベントを開催するための豊富な資金集め。

5. 今後に向けて

- 定着イベントにして啓蒙活動のPR効果を上げていく。
- 提灯文化を伝統工芸として継承しつつ発展を目指す。
- 「あんどん」=八女のイベントとなることを目指す。
- 継続的なイベントと合わせて新たな取り組みを行い、八女提灯の可能性を広めていく。
- 八女市・福岡県と連携を深め、交流を増やしていく。

ご清聴ありがとうございます。

盆提灯の製作がんばります。

みんなちがって みんないい事業

～ひまわりの会 八女・筑後～

1. 団体について

○設立目的

学び方、育ち方は色々あっていい。

学校を選ばない子ども達の基本的理解をはじめ、地域住民や他地域と連携や交流をしながら、活動を通じて心豊かに暮らせる社会を目指します。

○団体構成員：19人 サポーター：3人

○設立年月日 2019年11月

○これまでの3年間の活動実績

講演会 3回

座談会 6回（交流会、#不登校は不幸じゃないin八女・筑後など）

「全日制じゃない高校」説明会＆相談会 3回、高校見学会6回

講話 2回、トークライブ 1回、上映会1回、オンライン講座1回、ワークショップ1回



シンボルマーク

2. 活動内容

開催日	活動内容	場所	参加者数
R4 7月 2日 (日)	ひまわり交流会(支援者と当事者の交流会)	おりなす八女	約30人
8月21日 (日)	#不登校は不幸じゃないin八女・筑後	おりなす八女	約20人
9月 3日 (土)	「全日制じゃない高校」説明会	おりなす八女	約60人
10月15日 (土)	「全日制じゃない高校」説明会	筑後市社協	約70人
11月 7日 (月)	高校見学会 (久留米市通信制高校)	久留米市 3校	8人
11月11日 (金)	高校見学会 (福島高校定時制)	福島高校	8人
11月28日 (金)	高校見学会 (久留米市通信制高校など)	久留米市 3校	6人
12月25日 (日)	「夢みる小学校」上映会&語ろう会	おりなす八女	約200人
R5 2月 7日 (金)	高校見学会 (大川樟風定時制)	大川樟風高校	4人
2月11日 (土)	ひまわり交流会(高口SSW講話)	おりなす八女	約25人
3月15日 (水)	高校見学会(福岡市通信制高校など)	福岡市 3校	10人
3月20日 (月)	遊び・コミュニケーションからアートへ親子で楽しむ関わり合い (講師：吉柳佳代子さん)	多世代交流館 「共生の森」	約15人

2 活動内容

○ひまわり交流会(支援者と当事者の交流会)

R4 7月2日(日)

参加者 保護者 約30人



高口先生SSW講話



支援者と当事者の交流会

○#不登校は不幸じゃないin八女・筑後

R4 8月21日(日)

参加者 保護者 約20人

○ひまわり交流会(高口先生SSW講話)

R5 2月11日(土)

参加者 保護者・子ども 約30人

ひまわりの会 八女・筑後



#不登校は不幸じゃないin八女・筑後

2 活動内容

○「全日制じゃない高校」説明会

R4 9月3日（土）

R4 10月15日（土）

参加者 保護者・子ども 約130人

○高校見学会(通信制・定時制各校)

R4 11月7日・11日・28日

R5 2月7日・3月15日

参加者 保護者・子ども 約40人

ひまわりの会 八女・筑後



「全日制じゃない高校」説明会



高校見学会(通信制・定時制各校)

2 活動内容

○「夢みる小学校」上映会&語ろう会
R4 12月25日（日）

参加者 保護者・子ども・支援者 約200人



語ろう会



「夢みる小学校」上映会

ひまわりの会 八女・筑後

2 活動内容

○遊び・コミュニケーションからアートへ
親子で楽しむ関わり合い

（講師：吉柳 佳代子さん）

R5 3月20日（月）

参加者 保護者・子ども 約15人

○定例会（ほっと館やめ）

開催日 第4土曜日（9回実施）

参加者 各回 3～20人



ひまわりの会 八女・筑後

親子で楽しむアート活動

3. 活動の成果①

- 昨年度の活動を通して、当事者や保護者、支援者とのつながりが増え、同時に様々な支援団体・機関と連携できるようになった。
- ほっと館やめを会場に借りての定例会が定着し、参加者との有意義な時間を持つことができている。

3. 活動の成果②

- 「全日制じゃない高校」説明会はいずれも満席。
参加者の満足度も高かった。
参加者の5分の1が教職員、学校へも認知され始めている。
- 全日制ではない高校の見学会を5回開催し、11校を訪問。
説明会や見学会を通じて、高校とのつながりもできた。

4. 今後に向けて

- 会の周知をさらに進めていく
- まだ人知れず悩んでいる保護者、子ども達とつながれるよう努める
- 通信制、定時制高校について当事者の家族や学校の先生方に知っていただけるようにする
- 通信制高校や定時制高校の相談会を、市との共催事業に発展させて実施する

☆星野アストロスクール

星野村で星空マスター
を育てよう



星野未来塾

団体紹介 星野未来塾

◆ 設立目的

村民自らが地域資源を掘り起こし、都市部から地方へ新しい流れを作り、2030年に、星がいっぱいの村に2500人の村民と関係者が集い、子や孫の時代まで明るい未来のある星野村を残すために持続可能な星野村を作りあげることが目的とする

◆ 設立 2018年11月

◆ 会員資格 特にありません



(星野未来塾)

団体紹介 活動実績

◆ 2018年10月から毎月1回「星野未来塾」を開催

- 目標「2030年21項目の星野村の未来像」
 - SDGsの取組み
- 21項目の未来像を実現するための「施策を36項目」の実施
 - 広内の棚田の「棚田クリーン大作戦」草刈り
 - 法政大学学際宇宙ゼミとの協働
 - 星の文化館の活用・星野アストロスクールの実施
 - 空き家対策 ・空家バンクへの登録
 - 子供教育支援 ・星野川の水質、いきもの調査・田植え体験
 - 毎月「星野未来塾通信」の発行と村内全戸配布
 - 玉露摘みサポーター事業
 - 星野村のカシロダケ竹林整備支援



星野アストロスクール
課外授業

(星野未来塾)

星のアストロスクール とは

ビジョン	私たちは星野村の未来をつなぐ子どもの育成を目指します
活動理念	・子どもたちが星や宇宙に関する知識を学びます ・子どもたちに星野村に対する誇りと愛着を醸成します ・子どもたちが学んだことを他の人に発信します

星のアストロスクール 活動内容

4月～5月	星野小中学校総合学習導入準備 ・ 学校との打合せ ・ 授業コマごとの担当割り振り	星野小中学校 法政大学 星の文化館
5月～7月	カリキュラム作成	法政大学 星の文化館
7月～12月	天文教育実施 ・ 星野小学校8コマ ・ 星野中学校5コマ	小学校5, 6年生 中学校全校生徒
10月～‘23年1月	運営体制会議 7回～10回	法政大学 星の文化館 星野未来塾
11月	翌年度に向けたカリキュラム内容 授業実施内容打合せ	法政大学 星の文化館 星野小中学校
1月～3月	組織体制、次年度への引継ぎ	法政大学 星の文化館 星野未来塾
3月25日	星兄爆笑星空ツアー（課外授業）	星の文化館

星野小学校5, 6年生 授業内容

- ◆ 法政大学学際宇宙ゼミ 増尾研究生、星の文化館指導員
 - ・ 星野村の資源として、星空と星の文化館があることを学ぶ
 - ・ 星の観測方法の1つとして望遠鏡を身近に感じるために望遠鏡製作
 - ・ 簡易分光器で観測体験
 - ・ 星を観測する面白さと星の文化館の大型望遠鏡を結び付け、天文台への理解を深める。



星野中学校 全校生徒 授業内容

◆ 星の文化館スタッフによる授業

- 星野村の星空調査に関する課題を設定し、その調査へ取り組むことで郷土への愛着や誇りを高めるとともに、調査結果をもとに星がよく見える条件について考えることで課題解決を図る。
 - ・ 星座表の見方など
 - ・ 夏休み中に夏の大三角形を見つけて、その中の星の数を数える
- 星や星座を他の人に発信することについて課題を設定し、シナリオ作成を通して課題解決を図る。



(星野未来塾)

3. 活動の成果

- 星野村には九州一大きな望遠鏡を備えた星の文化館があり、星野小・中学校とこの施設を利用したオリジナルのカリキュラムを授業に取り入れる事を進めて、今年は星野小学校で8コマ、中学校で5コマの授業を実施できた。
- 小学校5年生、6年生、中学校の夫々の授業内容も完成した。
 - 法政大学学際宇宙ゼミの学院生が一昨年から2年間星野村に滞在して、星の文化館、星野小・中学校と協議を重ね完成させました。
- 令和5年度からは、星の文化館が中心になり、この授業を続けていくことになった。

4. 活動の課題

- 法政大学学際宇宙ゼミとの協働の継続。
- 法政大学学際宇宙ゼミの「空き家天文台」構想の空き家の確保。
- 星の文化館で継続するためのスタッフの確保。
- 手作り望遠鏡の購入資金の確保。
- 子供たちが頻繁に星の文化館に来てくれる環境づくり。
 - 夜の体験への交通手段など

4. 今後に向けて

- 法政大学学際宇宙ゼミの「空き家天文台」の実現。
- 学校だけでなく、星の文化館をベースにした子供たちが気軽に天文に触れ交流できる場所。
- 星野村の学校だけのオリジナルの授業として村外にもPRしていく。
- 星野村の子供が故郷に誇りを持てるような教育を目指す。

幸せねこプロジェクト

おちゃねこ八女



1.団体について

○設立目的

八女市を中心に保護猫・地域猫活動を行うことで、地域と人と動物（猫）が仲良く上手に暮らせる社会作りを目的とする。

○団体構成員数 10名



（おちゃねこ八女）

1.団体について

○これまでの活動実績

・TNR活動

野良猫の避妊去勢手術

・保護猫の里親探し

定期的な譲渡会の開催

SNSを活用した情報発信

・チャリティーグッズの販売

おちゃねこ八女オリジナルTシャツ・お茶の販売



(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○活動スケジュール

日程	活動内容	活動場所
4月～3月	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	池田モータース
4月～3月	TNR活動	八女市内各所
5月3日、4日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	えこびと
5月28日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	みやきマルシェ
6月26日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	広川産業展示会館
6月27日 7月2日	八女市岡山小学校3、4年生 命の授業	岡山小学校
7月23日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	べんがらマルシェ

※毎日 シェルターにおける保護猫の飼育・健康管理

(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○活動スケジュール

日程	活動内容	活動場所
7月24日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	堺屋マルシェ
8月20日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	久留米市北野生涯学習センター
9月4日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	広川産業展示会館
10月9日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	えこびと
10月15日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	久留米市北野生涯学習センター
10月29日、30日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	堺屋マルシェ
11月16日	市民と議会の意見交換会	おりなす八女

※毎日 シェルターにおける保護猫の飼育・健康管理

(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○活動スケジュール

日程	活動内容	活動場所
11月18日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	土橋市場
11月23日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会 ペット供養	開運寺
11月27日	譲渡会・チャリティーグッズ販売会	土橋市場
1月23日	八女市議会議員との分野別意見交換会	八女市役所立花支所
2月22日	チャリティーグッズ販売会	土橋市場
3月5日	映画上映会における活動紹介 チャリティーグッズ販売会	おりなす八女

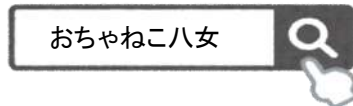
※毎日 シェルターにおける保護猫の飼育・健康管理

(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○インターネットによる情報発信

各種SNSを利用して、おちゃねこ八女の活動、里親募集中の猫の情報などを日々発信しています。



★アメブロ「おちゃねこ八女」

<https://ameblo.jp/ochaneko-yame/>

★Instagram「@ochaneko.yame」

★YouTube「おちゃねこ八女」

<https://www.youtube.com/channel/UCSMMRZCItA5ozMXM5-YuPRQ>

★Facebook「おちゃねこ八女」

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100079901313414>



アメブロ



Instagram



YouTube

(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○譲渡会

池田モータース(八女市室岡282-6)
にて毎月開催
本年度は20回

- ①譲渡会告知チラシ作成・張り出し
- ②譲渡会場にて来場者の対応
 - ・譲渡条件の説明
 - ・飼育方法の指導
- ③チャリティーグッズ販売



(おちゃねこ八女)

参加者:各回 約30組、従事者:各回 約15名

2.活動内容

○譲渡会

イベントに参加しての譲渡会開催
(土橋市場・堺屋・開運寺など)
本年度は17回

- ①譲渡会告知チラシ作成・張り出し
- ②譲渡会場にて来場者の対応
 - ・譲渡条件の説明
 - ・飼育方法の指導
- ③チャリティーグッズ販売

参加者:各回 約20組、
従事者:各回 約10名



(おちゃねこ八女)

2.活動内容

○命の授業

6月27日、7月2日の二日間、八女市岡山小学校の3、4年を対象に命の授業を実施。



(おちゃねこ八女)

2.活動内容

TNR活動とは「トラップ・ニューター・リターン」の頭文字をとったもので、「捕獲して手術をしたのち、元居た場所に戻る」活動のことを言います。

Trap → Neuter → Return



**罠を使い
捕獲**



**避妊去勢
手術**



**元の居場所
へ戻す**

(おちゃねこ八女)

2.活動内容 TNR活動



捕獲器をしかけます。
猫の活動時間の夜中に
捕獲することもあります。



体調の変化や、
脱走防止に気を付けながら、
お世話します。

(おちゃねこ八女)



どうぶつ基金病院
に搬入します

医師による手術の
様子



手術後経過が良好かを
確認して、翌日には元の
場所にリターンします
要観察の子は経過を見て
からリターンします

(おちゃねこ八女)

3.活動の成果

・譲渡会の開催

外で保護した猫たちをおうちの猫として飼っていただくため、八女市内外において37回の譲渡会を行い、151頭もの猫たちが新しい家族と出会うことが出来ました。

・TNR活動

地域の野良猫を捕獲し、避妊去勢手術を受けさせたうえで元いた場所に返す、というTNR(Trap Neuter Return)を中心に活動を行ってきました。

公益財団法人どうぶつ基金による「TNR地域集中プロジェクト」に八女市行政枠として申請していただき405頭の不妊去勢手術を行うことができました。

その他、個人の相談者様からの依頼による個人負担または団体負担でのTNRも数多く行っております。

このことにより、外で生きる中で命を落としてしまう猫たちを減らすことができたのはもちろん、地域のもめごとの原因となってしまった方、あるいは多頭飼育崩壊に陥って助けを求めておられた方、そういった市民の皆さんの生活・環境、また心身の健康面での改善にお役に立てたのではないかと思います。

(おちゃねこ八女)

3.活動の成果

・他団体との連携

北海道で活動されている「NPO法人 猫と人を繋ぐ ツキネコ北海道」様に、八女市で保護した猫たちのうち、譲渡になかなかつながらない猫たちを受け入れていただき、北海道で新しい家族と繋いでいただく事が出来ました。9月、11月、1月、2月、3月に北海道へ空輸し実施していただきました。



ツキネコ代表と
おちゃねこメンバー
による勉強会の様子



(おちゃねこ八女)

3.活動の課題

・TNRについて

TNRという活動に関して、地域の方に周知がなされていない。もっと市民の皆さんにこの活動を知っていただきたい。

八女市は活動範囲が広く、時間・経費（ガソリン代等）の負担が大きい。

・保護活動について

野良猫の保護（主に子ネコ）の依頼が多く、それに伴う保護施設、えさ代、医療費の団体負担が大きすぎる。

平日に保護猫のお世話が出来るボランティアが少ない。

3. 今後に向けて

- ・譲渡会の開催・TNRについて、より市民の皆さんに知っていただくために、チラシの作成を行い、市内のスーパーや公共施設等への掲示依頼を行う。
- ・正しい猫の飼い方や、避妊去勢手術の重要性を知っていただくために、学校やお祭り行事などでの動物愛護啓発活動を行う。
- ・学生ボランティアの受け入れ等も行い、活動できるボランティアの数を増やす。
- ・NPO法人の設立を行い、クラウドファンディング等を利用した資金の調達を目指す。それにより継続的な活動を行える環境を整える。

ミニバラ八女津姫を広めるプロジェクト

～ ミニバラ八女津媛の会 ～





ミニバラ八女津媛の会について

● 設立目的

八女の地名の起こりは、日本書紀に出て来る『八女津媛』。その名前がついた世界登録された日本オリジナルの花『八女津姫(ヤメツヒメ)』をより多くの方に知ってもらうため、八女に咲かせて町づくりをしたいと会を結成した。

● 団体構成員数 11名 及び

八女農業高校システム園芸科草花専攻の学生・先生

● 設立年月日 令和3年4月1日



わたしたちの活動のきっかけ

2018年 NHK「趣味の園芸」でミニバラ「八女津姫」が紹介され、「ヤメツヒメ」と名付けられた花があることを知る。

1961年作出（伊丹バラ園）作出者辺春佳四郎
八女市のために生み出された花なのでは…？

ぜひこのバラを八女市内に広めたいと考え、友人にプレゼントしたり、旧八女郡役所（2020年4月）・八女津媛神社（2020年5月）に植栽。年間を通して手入れするようになった。



ミニバラ「八女津姫」プロフィール

作出国	日本
作出年	1961年【伊丹バラ園】
作出者	辺春佳四郎（へばるけいしろう）
ローマ字	YAMETSUHIME
系統	ミニチュア
花色	ピンク、ホワイト、ローズピンク
香径	微香
咲き方	四季咲き
成長形態	木立性
樹高	20cm
交配	TomThumbX実生（seedling）
別名	「レンゲローズ」

花言葉

特別の功績 いつもとても優美



貝殻を重ねたような、小輪半八重咲き

（ミニバラ八女津媛の会）



令和4年度の植栽活動 1



八女市西公民館

4月12日

参加者 14名

苗 20ポット

グリーン倶楽部・吉田先生



黒木町南仙荘

5月17日

参加者 4名

苗 8ポット

プランター2個



黒木社会福祉協議会

5月17日

参加者 4名

苗 10ポット

(ミニバラ八女津媛の会) 5



令和4年度の植栽活動2



立花町社会福祉協議会かがやき

10月4日 参加者13名
苗 50ポット



ヴィラルティス

参加者25名
苗20ポット



上陽社会福祉協議会

苗 10ポット
(プランター2個)

上陽5月14日



苗 20ポット
(プランター1
個)

ほたと石橋の館【上陽町】

*八女市東公民館、松木邸、みどりの杜、大石そなえ邸に植栽



年間通しての手入れ

花柄摘み、水やり、肥料、土入れ、株の切り戻し、さし芽、草取り など

植栽場所には許可を頂き、花壇やプランターの責任者を決め、水やりをしてもらっています。



草取り作業
【旧大内邸】



寒さよけの為、藁をかぶせた
【八女津媛神社】



日当たりがいいのでよく咲きます
2020年植栽
【旧八女郡役所】（撮影5月）

会での
活動経過

4月27日 11月9日	旧大内邸 草取り 14名
10月 16日	八女津媛神社 手入れと草取り15名
通年実施	個人で花壇の手入れや草取り作業



毛利先生の講話

植栽ボランティアを募集しての花壇づくりでは、講師を招き「園芸についての講話」・「植栽のアドバイス」をしていただきました。



講師 花修景園芸家
毛利 晶子 氏

モットーは『安・楽・長』



11月12日星野村そよかぜ
(参加者14名)
内ボランティア 9名



10月16日 八女津媛神社
(参加者15名)
内ボランティア10名

(ミニバラ八女津媛の会)



八女農業高校との連携

八女農業高校 システム園芸科 草花専攻の学生さんが挿し芽をして繁殖に成功



繁殖されたミニバラ八女津姫
苗づくりについて語る先生



繁殖したつぼみ



冬、会に頂いた管理中の苗

活動経過

4月19日	苗を30ポット提供
6月 14日	苗を80ポット頂く



ボランティア参加者募集ちらしの作成

【ねらい】

- ボランティアの募集
- ミニバラ「八女津姫」の紹介と
会の活動目的などの情報発信
- 講師を招いての園芸講話
- ミニバラ植栽の集いを開催、
苗をプレゼントし、市民により親しんでほしい。

【配布】

2000部 印刷





3つ折りパンフレットの作成

【内容】

- ミニバラ「八女津姫」のプロフィール
- 会の活動状況
- 今年度植栽場所および次年度の植栽場所
- 日本書紀に登場する八女津媛と八女（やめ）の名の由来
- 八女津媛神社の紹介 など…

【部数】 3000部

【設置場所】

八女市役所、八女市内支所、おりなす八女、八女郡役所、横町町家交流館、伝統工芸館、観光案内所、図書館、共生の森、旧大内邸、ほたと石橋の館、みるく畑くりやま、杣のさと、Villa ARTIS、朝日屋酒店 他





ホームページの作成



アクセスQR

<https://minibara-yametsuhime.jimdofree.com/>



活動の成果①

- パンフレットやホームページなどの広報活動を通じて問い合わせがあった。綺麗なバラの写真が好感を得る。
- 八女農業高校で八女津姫の苗の繁殖に協力していただくこととなり、繁殖に成功。その苗をいただいて植栽した。
- 毎月第一金曜日の定例会
コロナの影響でオンラインミーティングを行ったり、状況によっては作業に変えたりした。
- 八女津媛神社のミニバラ
矢部村の方たちが当番で月1回の草取りをされており、ミニバラの花壇まわりもしていただいている。



活動の成果②

- 植栽ボランティアの方たちが定着して参加して頂けるようになったのでサポート会員になっていただいた。更に年度末には、18名の方に令和5年度より会員になって頂くよう了承を得た。
- 植栽場所20か所を見守る担当を決めて、パトロールするようにした。



活動の課題

- 日頃の手入れと管理
植栽場所の責任者に、花の状況報告をしてもらう
- 植栽ボランティアの方々とのつながりを密にする
- ミニバラ八女津姫の作出者である辺春佳四郎氏についての研究を続ける



今後において

- どの花壇も手入れを充実させ、花を多く咲かせ人々の癒しの場所にしたい。
- ミニバラ八女津姫が、八女市の花として、愛される花になりますように。



八女の土で器を作って楽しもう

～資源を活かして原料から作ってみる会～

1. 団体について

○設立目的

モノのあり方を再構築し、完成までの流れを実体験することにより、これからの社会でのモノづくりについて、またその作ったモノを活かす方法について考察し提案していくことを目的とします。

【構成員 5 名】 【設立年月 2020 年 4 月 1 日】

○活動実績

「八女の土で器を作ってみよう」という事業で、原料を入手するところから、器を焼いてお茶会の茶碗として使うプログラムを 2 年間行いました。

(資源を活かして原料から作ってみる会)

2. 活動の内容

○目的

八女の魅力を器づくりを通して体験してもらうモデルプログラムづくり。八女で自然から収穫した材料により器を焼き、自作の器で八女茶を楽しむプログラムです。このプログラムを実行することにより、古代から続いてきた歴史と文化遺産とそれを支えてきた原料と技術を繋げて分かりやすく八女の文化を発信していきます。

○活動の概要

八女の焼物を深掘りし、原土から燃料まで、身近で収穫できる材料のみで器づくりを体験する。

(資源を活かして原料から作ってみる会)

○活動のスケジュール

日程		活動内容	参加人数
1 日目	土堀り	粘土層がある場所に行って土を掘る	6 名
2 日目	器づくり	掘った粘土から大きな石などを取り除き、 足で踏んだり練ったりして成形しやすい 粘土にする。 お茶に因んだ器を作る（抹茶碗など）	
3 日目	窯づくり	楽焼用の窯を作る	
4 日目	楽焼き	1 日目に作った器に釉薬をかけて焼く	
5 日目	お茶会	焼きあがった自作の器を使ってお茶会を する	6 3 名

（資源を活かして原料から作ってみる会）

○活動の様子__土堀り・器作り 2022/8/27～28



(資源を活かして原料から作ってみる会)

○活動の様子__窯づくり・楽焼き 2022/9/17～18



(資源を活かして原料から作ってみる会)

○活動の様子__お茶会 2023/2/19～20



(資源を活かして原料から作ってみる会)

3. 活動の成果

一年を通じて 5 回のプログラムでしたが、第一段目の企画である「土を掘って作る焼く」までの企画は、参加費が高かったためか企画内容が分かりにくかったためか参加人数が目標に達しませんでした。

最後の「お茶会」ではお抹茶とは別に耕作放棄されたお茶畑の茶の木で会場に小さなお茶畑を作り、一人 20 枚ほどのお茶摘みをしてもらい、その茶葉を釜で炒って釜炒り茶を楽しんで頂きました。

(資源を活かして原料から作ってみる会)

3. 活動の成果

お茶会は 2 月で新茶ではなかったものの、しっかりお茶の風味を楽しめて、「お茶とは何か？」という根本的な疑問に向き合えることが出来たと思います。

お茶会の参加者からは「八女でこんなに贅沢な時間を味わえるなんて」という感想を複数頂き、時間制限を設けないゆっくりとした空間でのお茶会を楽しんで頂けたようです。

(資源を活かして原料から作ってみる会)

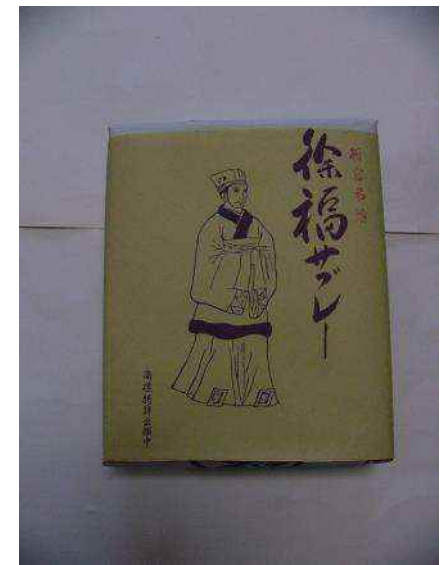
4. 今後に向けて

器づくりについては参加ハードルが高かったようなので、この企画のメインを最後のお茶会にポイントをおいて、沢山の人に八女茶の楽しみ方の一案を提供できるようにしていきたいと考えています。

(資源を活かして原料から作ってみる会)

令和四年度市民との協働によるまちづくり提案事業

舞台から八女の徐福文化を発信する —徐福八女長寿茶山踊りと商品開発—



活動目的

八女市山内の童男山古墳に残る徐福伝説「童男山ふすべ」を通して、八女市に残る徐福伝説を発展させるため、徐福の研究と顕彰活動を行っています。さらに、日本・中国・韓国等の徐福会、研究会、研究者との国際交流活動を進める一方、童男山・犬尾城址保存会と協力して「童男山ふすべ」の保存継承を進めるため、市内外や国際交流などの対外活動を目的とした八女徐福会を平成25年に設立し、会員約35名で活動しています。

H29-31年は八女の徐福文化を国内外に発信し、世界無形文化遺産登録に向けて中韓日の交流を中心に事業を進めてきました。令和3年からは引き続き交流事業を進める一方、徐福文化を広く一般に普及するため舞台からのアピールを行い、さらに徐福資源を生かして地元産品とコラボした商品開発を行い、地域経済の活性化を探ります。さらに、地元小学校と連携し徐福文化の普及を図っています。



活動内容

- 令和4年度は引き続きコロナ感染拡大防止のため、国内外において事業の中止や延期が相次ぎましたが、活動の制限を受ける中、できる範囲の中で徐福文化の世界無形文化遺産登録を目指し事業を行いました。
- (徐福文化交流事業)
- 令和4年
 - 10月1日 筑紫徐福会発会式・研修会(筑紫野市歴史博物館)
 - 10月30日 韓国巨済徐福会15周年記念会(韓国巨済市一運面繁栄会館)
 - 12月17日 九州徐福文化フォーラムIN佐賀・徐福講演会(佐賀市徐福長寿館)
- 令和5年
 - 2月18日 佐賀県徐福会講演会(佐賀市徐福長寿館)
 - 2月19日 八女の徐福文化を発信するー徐福関連商品開発ワークショップ
 - (おりなす八女)



八女の徐福文化を発信する ー徐福関連商品ワークショップー



ワークショップ(テーマ八女茶)



八女茶

- お茶の入浴剤、肌にやさしく、香りよく、除菌作用がある。
- ハーブをまぜて香茶
- お茶の歯磨き粉、お口の消臭
- 青のりのかわりに粉茶、例、たこ焼き、お好み焼
- お茶の手すき和紙
- 茶染めスカーフなど
- お茶の陶器。粘土に混ぜて。
- お茶の実のオイル。髪、フェイスに。
- 消臭剤。除菌する時代にお茶の香りする。
- お茶を動物に飲ませ、毛玉とりとする。犬、猫茶。
- 大きくなった茶木を煎じて、漢方にする。徐福長寿薬。
- お茶の葉と木の廃木する分から、アロマ抽出。
- お茶のドライフラワー



ワークショップ(テーマ徐福文化を広げる)



徐福文化を広げる

- 観光資源として徐福像を知らせる。徐福関連の商品。
- 友好の資源。徐福は中・韓・日の共通の平和の使者。
- 徐福文化とは。徐福が伝えたといわれるものは。
- 五穀とは。米・麦・キビ・アワ・豆。
- 徐福ラーメン、うどん。
- 劇を別パターンで作る。韓国・中国用。
- Wifi。徐福・ジョフク・じょふく。
- 新聞の折り込みチラシ求人欄一に掲載を依頼する。
- 歴史的資源。日本の歴史にどう関わったか。



ワークショップ(テーマ童男山古墳周辺整備と童男山ふすべ)

童男山古墳周辺整備と童男山ふすべ

(童男山ふすべ)

○ドローンを使用して視覚による広報活動を行う。

○CMを作り、みんなに広める。

(童男山古墳周辺整備)

○地元の人、八女市、古墳好きな人に関わってもらい、毎月〇週〇曜日で整備し、バイト料を出して活動のモチベーションを上げる。

○童男山古墳に、まずは、トイレをきれいに整備する。ふれあいの家跡地に遊具の充実した公園にする。

○442号線昇り口に童男山の看板、トイレ設置。

○そうじをする。(年に一回くらい)

○徐福広場及び古墳周辺に中国伝来の樹木であるローバイを植樹する。(小学生、保存会、保護者、町内共同による)ローバイは一月から二月に開花する。

○地元産の長野石を用いて、童男・童女三千体を古墳周辺に配置。む

○童男・童女の石像は結婚や、誕生日などの記念に作り、制作、設置してもらう。

○車椅子の方も大変だったと思いますが、高齢者も多いので、ふすべの会場に上がるのが大変そうだった。会場まで上がるのにスムーズに行ける道が整備されたらいいなと思う。

○童男山21号、3号古墳がありますが、楠の木が生えており神秘的なので、これらにも、徐福のシンボルを設置したらどうでしょうか。

○韓国尚州里にある石刻と同じレプリカを作り、秦の始皇帝との関りを作る。



ワークショップ(テーマ韓国巨済市との交流)

韓国巨済市との交流

- オルレ交流。済州島発と同じような独自のコースがある。
- 筑紫君磐井の巨済市の古代交流を探る
- 漁業体験
- ビールまつりへの参加
- 徐福会相互交流
- 特産品の相互販売
- 市長訪問。八女市へ。
- 巨済市八女市、相互交流
- 巨済市での緑茶販売、コーヒーショップで。
- 修学旅行
- 離島訪問
- 職員人事交流
- お互いの酒を飲みあう交流
- 職員旅行
- 交流のための視察研修への助成(要レポート)
- 八女市小学校、中学校、高等学校から徐福をお知らせする講演が必要。(韓国から)
- 八女市と巨済市は姉妹都市なので、巨済徐福会が八女市の小学校、中学校、高等学校で巨済徐福伝承地を紹介する時間を持っていたらいいです。(韓国から)



- (徐福普及活動)
- コロナ感染拡大防止のためイベントの中止、施設等訪問禁止のため活動が限られました。
- 令和4年
 - 昨年に引き続き令和4年5月まで、(社法人)日本中国友好協会発行の日中友好「日本と中国」に全国の徐福伝承地を紹介しました。
- 5月21日 八女徐福会総会・研修会(山内集会所)
- 7月8日 川崎・忠見小学校「童男山ふすべ」学習会打ち合わせ(川崎小学校)
- 10月20日川崎・忠見小学校「童男山ふすべ」合同学習会(川崎小学校)
- 11月10日川崎・忠見小学校「童男山ふすべ」合同学習会(川崎小学校)
- 11月25日川崎・忠見小学校「童男山ふすべ」学習会発表会(川崎小学校)
- 令和5年
 - 1月20日「童男山ふすべ」川崎・忠見小学校合同開催
 - ドローン撮影(童男山古墳)



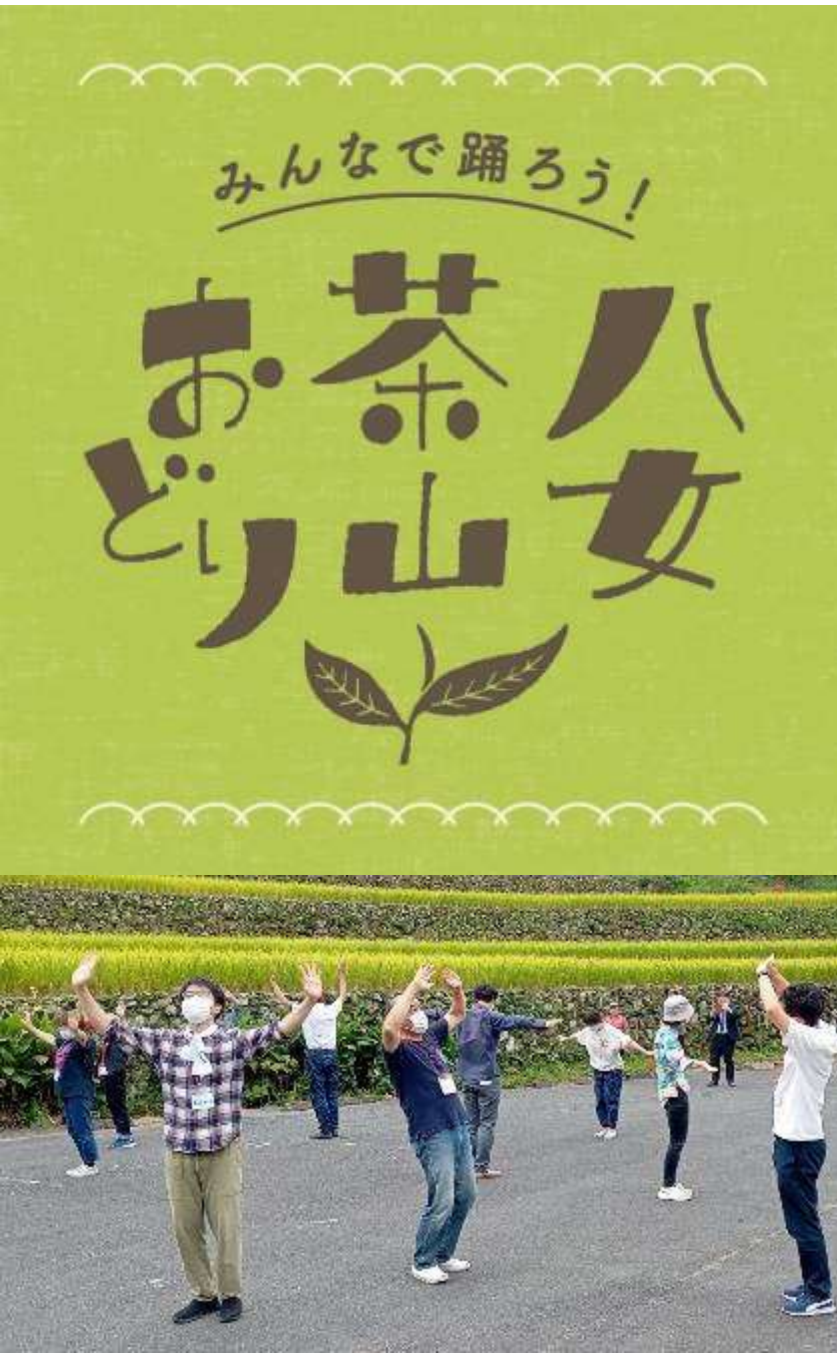
- (徐福商品開発事業)
- 令和4年
- 6月 徐福キーホルダー・八女徐福長寿飴、シール
- 8月 八女徐福長寿飴販売開始
- 令和5年
- 1月 「童男山ふすべ」・ドローン撮影、ユーチューブ編集作成



- (特記事項)
- 日本徐福協会を通じて日本全国の徐福伝承地と交流を深め、さらに中国、韓国の徐福団体との交流を深めています。特に、九州地区(福岡、佐賀、宮崎、鹿児島)の徐福団体とは巡回セミナーの共同開催などで事業を進めています。
 - しかし、コロナの鎮静化が見られましたが、コロナの感染拡大により、中国、韓国との渡航が制限され、各国で開催のシンポジウムやセミナーは中止や延期、リモートでの開催になりました。その中で、渡航制限解除がされたため、10月30日開催の巨済徐福会15周年事業に、八女徐福会から3名参加しました。日本においても国内の移動が自粛される中、筑紫徐福会発会式に参加、商品開発ワークショップ、川崎・忠見小学校合同学習会で、徐福座の公演を行いました。また、八女徐福座の公演も活動が限定的になりましたが、日頃より練習を重ねています。
- 徐福文化の世界無形文化遺産登録を目指しては、中・韓・日の3カ国の徐福団体とオンラインやメールを通じて交流を継続し協力して活動を行っています。
- このような中で、川崎・忠見小学校児童の「童男山ふすべ」3回の授業、学習発表会をはじめ、イベント参加者、童男山ふすべ、八女オルレコース遊歩参加者にパンフレットや徐福タオル、キーホルダーの配布を行いました。また、イベント時には、八女徐福長寿茶、飴の販売を行い、八女の徐福文化の発信を行いました。



• ご清聴ありがとうございました



八女茶山おどりプロジェクト

認定NPO法人山村塾



@福岡県八女市黒木町笠原

都市と農山村の住民が一緒に
農作業や山仕事を楽しみ、山村の自然を守る

- 1994年4月1日 2軒の農家を中心に発足
- 2014年 NPO法人格取得
- 2017年 特例認定NPO法人
- 2020年 認定NPO法人

※NPO会員124名（正41名＋賛助83名）、
活動コース会員68家族、棚田米サポーター76名

活動の内容

目的

八女茶発祥の地として八女茶文化を育んできた笠原地区を拠点に、「八女茶山おどり」の推進を行い、それらを通じて美しい農山村景観の保全とそれを支える農林業と農山村地域の持続可能な暮らしについて考える。

概要

推進会議 4 回：八女茶山唄・八女茶山おどり普及、600年記念事業

体験会 3 回：踊り手育成、唄とおどりの普及

発表会 1 回：八女茶山唄、八女茶山おどり、八女茶の体験、意見交換

* 5/29（日）「NHK民謡魂ふるさとの唄」公開収録@おりなす八女に参加

スケジュール

	日程	活動内容	活動場所	参加者数
八女茶山おどり 推進会議	4/26（火）	企画打合せ 600年祭に向けたアイデア 会議	オンライン	4名
	5/30（月）		旧八女郡役所	7名
	2/10（金）		おりなす八女	4名
	3/15（水）		旧八女郡役所	5名
八女茶山おどり 体験会	5/29（土）	八女茶山おどり体験 八女茶試飲	旧八女郡役所	25名
	6/19（日）	「NHK民謡魂ふるさとの唄」 の放映にあわせて	えがおの森	26名
	11/20（日）	コロナ禍で休止していた地元 の祭り「笠原まつり」と連携	元笠原小学校跡地	約50名
八女茶山唄 & おどり発表会	9/23（金祝）	八女茶山唄、八女茶山おどり、 八女茶の淹れ方の3つの体験 ワークショップ	えがおの森	32名



①八女茶山おどり推進会議

八女茶山唄・八女茶山おどりの普及を通じ、これからの茶文化・農村文化を考えた。八女茶発祥600年に関連する記念事業等について意見交換や検討を行った。

※計4回実施

参加者

馬場美雅（八女市観光大使）

武田力（演出家・八女茶山おどり制作者）

長津結一郎（九州大学大学院芸術工学研究院准教授）

東 穂積（福岡県茶生産組合連合会）

松延久良（福岡県茶業振興推進協議会）

大塚恵治（八女市黒木支所まちづくり推進係）

NPO法人山村塾スタッフ



②八女茶山おどり体験会 ※計3回実施

第1回 5/29（土）おどり体験、八女茶試飲など実施

第2回 6/19（日）「NHK民謡魂ふるさとの唄」放映 ※八女市長ご参加

第3回 11/20（日）3年ぶり開催の「笠原まつり」を盛り上げる



③八女茶山唄 & おどり発表会

唄って踊って味わう八女茶山2022

9/23（金祝）@えがおの森

- ・ 八女茶山唄、八女茶山おどり、八女茶の淹れ方の体験ワークショップと発表

- ・ 八女茶山おどりの世界観や八女茶発祥600年についての意見交換



5/29（日）「NHK民謡魂ふるさとの唄」公開収録



5/3（火） 里山ミニワーク「お茶摘み」

④その他

あちこちに登場・
参加しました。



2/11（土）開局10周年記念FM八女ラジオまつり



5/4（水） 第7回八女新茶まつり

6/23（木）11/21（月）黒木小3年生体験ワークショップ



活動の成果

8名のメンバーによる八女茶山おどり推進会議を計4回

体験会3回に計100名ほどの参加

発表会1回に32名の参加

※コロナ禍の影響を受けながらも、予定の取り組みを実施できた。

八女茶発祥600年祭実行委員会や関連組織と連携

八女茶発祥600年の機運を高めるべく各イベント参加や地元小学校への
出前ワークショップ

5/29「NHK民謡魂ふるさとの唄」公開収録（全国に紹介できた）

※予定外の取り組み・成果を得られた。

※関連イベントを含めると約500人が踊った。

活動の課題

9月はまだ暑さが残り、唄や踊りのワークショップに高齢の方が参加されるのはハードだったかもしれない。

→発表会イベントは時期を再考する？

関わる人が増えるにつれて、日程調整・確保が難しくなっている。

→少人数によるこまめな打合せ、全員参加で協議できる場の使い分け

おどり経験者は増加しているが、普及や指導を担当できる人が少ない。

→イベントに招かれた際など、経験者が応援に来てくれるとうれしい。

今後に向けて

- ・ 令和5年度、八女茶発祥600年記念に関する各催しが企画されている。
連携を深め、**八女茶発祥600年を盛り上げたい。**
- ・ おどり経験者は増えたので、おどりを指導できる人を増やしたい。
唄・おどり・八女茶と一緒に体験し味わうことで気づくことある。
- ・ これまでの600年を振り返り、**これからの600年を想像する。**

*** これからの茶文化・農村文化、そして持続可能な暮らしを創造したい。**



未来へつなぐスイートコーン ～僕たちを繋ぐモロコシファーム～

一般社団法人 八女青年会議所

(八女青年会議所)

1. 団体の概要

○設立の目的

- (1)地域社会における経済・社会・文化・環境等に関する諸問題を調査研究し、その正しい発展を図ること。
- (2)本会会員の指導者訓練を基調とした修練、社会奉仕及び会員の連携を図ること。
- (3)公益社団法人日本青年会議所及び国際青年会議所の機構を通じ、地域社会の繁栄と平和に寄与すること。

○団体の構成員

正会員38名 仮入会4名 R5.3.31現在

○設立年月日

1959年 8月 8日

2. 活動の内容

○活動の目的(目標)

八女地域において新規就農者を支援するための講習会を実施し、実際に農業体験に参加することで八女地域の魅力ある作物や地域住民との交流の大切さを認識していただくとともに、地域の魅力を感じ、今後の課題と一緒に立ち向かっていく。市民、行政、各種団体との連携を図り地域活性化の大きな原動力となる事業構築し、新たな八女地域の価値を創造させ、活気溢れる豊かな八女地域の実現を目指していく。

2. 活動の内容

○活動の概要(どういったことをするか)

- ①農業従事者を目指す高校生から大人40名募集
- ②講習会～八女地域の農業の現状について～
- ③農業体験～八女の魅力ある作物を作ろう～
- ④栽培成長記録作成
- ⑤収穫体験&実食

2. 活動の内容

○活動のスケジュール

日 程	活動内容	活動場所	参加者数
4月24日	講習会・農業体験	八女市亀の甲地内	31名(30名)
5月22日	草刈り・芽かき・誘引作業	八女市亀の甲地内	25名(25名)
6月12日	草刈り・芽かき・誘引作業	八女市亀の甲地内	20名(18名)
6月26日	収穫・実食	八女市亀の甲地内	27名(25名)
8月29日	畑片付け作業	八女市亀の甲地内	(15名)

(八女青年会議所)

○活動の様子



事業開始前(耕作放棄地)



事業開始前(耕作放棄地)



耕作完了(たい肥・化成肥料)



①講習会



①黒マルチ張り



①苗植え

(八女青年会議所)

○活動の様子



①支柱建て(女竹)



②作物成長状況



②作物成長状況



②芽かき・誘引作業



②誘引作業



③作物成長状況

(八女青年会議所)

○活動の様子



③指導風景



③ヤングコーン収穫



③キュウリ・ナス収穫



③収穫量



④朝採れスイートコーン



④全員で収穫

(八女青年会議所)

○活動の様子



④全員で収穫



④収穫したスイートコーン



④スイートコーン調理



④スイートコーン実食



④スイートコーン実食



④スイートコーン実食
(八女青年会議所)

3. 活動の成果

○栽培記録表・栽培管理記録表の作成

毎週月曜日と木曜の日中に天気・気温・湿度と写真にて記録を残し見やすい成長記録表が完成した。こちらを参加者にデーターにて送付することで今後の参考にできる成果物を得ました。

○アンケート回収

事業最終日6月26日の参加者27名回収。今回10代から40代の参加者をターゲットに事業を構築していましたが、35%と少ない結果となり、反対に50代から60代の参加者は65%と予想以上の方に参加をして頂きました。年配の方は家庭菜園や農業を経験したことがある方が多く参加しやすかったのではないかと考えます。今回の事業を通して農業をしたいと思うが90%の方に支持を頂きました。これも講師・指導員の方が丁寧に参加者に指導して頂いた結果につながりました。ただ農業従事者としてしていくには皆さん専門的な知識や土地、ご自身の年齢といった問題を解決することが必要だと言われておりこれを次に活かしていきたいと考えます。

4. 今後に向けて

○八女市より『令和4年度市民との協働によるまちづくり提案事業』の補助金を使い新規就農者を目指す方々の、支援を目的とした事業を進めて参りました。体験型にすることで知識・技術を会得することができ、参加者同士での交流を深めることが出来ました。農業をやりたいという方が増えれば今後も八女地域の魅力ある作物がなくなることなく、活気溢れる豊かな八女地域を目指したいと思います。

○八女地域において新規就農者を支援するための講習会や農業体験を企画し事業を展開してまいりましたが、メンバーの知識不足により講師・指導員頼みになっている部分が大きくありました。私たち青年会議所のメンバーがもっと率先して農業について知ることから始め、何をすれば、参加者に思いが届くかを、考え行動することが必要です。その時に何が必要かしっかりと話し合い、即行動に移せる人こそJCI八女だと思います。どんな状況下においても参加者の目線に立ち事業展開することを心がける。

ご清聴ありがとうございました



(八女青年会議所)

第一回 郡役所まつり 「コマまわしシロウ」展

団体名 郡役所シネマスイッチ

1. 団体の概要

○設立の目的・・・旧八女郡役所で、記録映画を中心に映画、本、音楽をとおして地域の人が集い文化的な交流を生み出す時間と場を作る。

○これまでの実績・・・2013年より民族文化映像研究所が昭和40年代から制作している記録映画を見る集まり「八女民映研をみる会」として活動を開始し、民族文化映像研究所の作品上映会を不定期で開催してきた。

その会を母体として2017年の7月から旧八女郡役所内でごく小規模な映画上映を繰り返している。2017年9月は郡役所の大きなホールで映画を上映。2018年に提案事業「フォト&フィルム アーカイブ -まちの記録と上映会-」を開催。その後も映画や音楽、本などの集まりを開催。

○団体の構成員 8名

○設立年月日 2016年7月1日

2. 活動の内容

○活動の目的(目標)

八女地方の地域資源であり自然素材から作られる「独楽」「和紙」「櫛口ウ」を、明治30年代に八女郡是が作成された現場でもある旧八女郡役所を会場に、地元の美術作家や工芸作家、生産者らとともに行うアート作品によるインスタレーション・ワークショップ・マルシェをとおして五感で感じ、それについて考える楽しい時間と場を作り出すこと、そしてその素材としての可能性を再評価すること。

2. 活動の内容

○活動の概要(どういったことをするか)

牛島智子「コマまわしシロウ」展…「ロウ」をテーマにしたインスタレーション

吉田知弘 映画のポスター展…昔の映画のポスターを展示

映画「タゴール・ソングス」上映会 &トークイベント

…映画「タゴール・ソングス」の上映及び佐々木美佳氏(監督)と中岡祐介氏(編集・三輪舎)によるトーク。

郡役所マーケット…旧八女郡で地域に根ざした活動や制作、販売をしている元地域おこし協力隊の若い人達を中心に声をかけ加工品などの販売を開催。燈籠人形期間中のため多数の来場があった。

ロウソクづくりワークショップ…今回のテーマである木蠟を使ったロウソクづくりのワークショップを開催。比較的若い人たちを中心に子供から大人まで多数参加。

冊子制作…郡役所まつり終了後、「コマまわしシロウ」展を中心に、旧八女郡役所での様々な取り組みを紹介する冊子を作成した。

2. 活動の内容

○活動のスケジュール

日 程	活動内容	活動場所	参加者数
9/1-30	牛島智子「コマまわしシロウ」展	旧八女郡役所	多数
9/1-30	吉田知弘 映画のポスター展	旧八女郡役所	多数
9/11	映画「タゴール・ソングス」上映会 &トークイベント	旧八女郡役所	29名
9/23-24	郡役所マーケット	旧八女郡役所	多数
9/23-24	ロウソクづくりワークショップ	旧八女郡役所	25名
10/1-3/31	冊子制作	旧八女郡役所他	3名

郡役所シネマスITCH

令和4年度 市民との協働によるまちづくり提案事業 活動事例報告



映画のポスター展



コマまわしシロウ展



「タゴールソングス」上映会



郡役所マーケット



牛づくりワークショップ



冊子
郡役所シネマスイッチ

3. 活動の成果

- 櫨ロウ、和紙を使ったインスタレーションやワークショップによる素材の紹介
- 櫨ロウろうそくの商品化、和紙を使ったものづくりの小さな広がり
- 地域の農産加工品や若い世代の手作りのものを紹介するイベント
- 普遍性を持った仕事をしている若手の映画監督や編集者を招き、そうした考えと出会う場と時間
- 次回へつながる下地づくり

4. 今後に向けて

○今後も旧八女郡役所を拠点に個人レベルの小さな活動を結びつけるような、そしてそれが地域内外のつながりに広がるような活動をしていきたい

宮ヶ原橋（4連石橋）架設100年記念事業



八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会

（八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会）

1. 団体の概要

○設立の目的

本会は、八女市上陽町のひふみよ橋及びその文化の価値を大切にし、守ることを目的とする。

○これまでの実績

- ・H24.9.18 設立総会（会員数109人）
- ・H24.9.19 「ひふみよ橋」の保全を求める陳情書提出
- ・H25.6.30 上陽の里山風景についての講演会
- ・H27.5.16 日本の石橋を守る会・上陽町大会
- ・H27.12.16 八女上陽のシンボル「ひふみよ橋」の市文化財指定と保全を求める要望書提出
- ・H28.2.29 「洗玉橋」の除草作業
※以後年に1～2回程度実施（H29.2.18 H29.7.29 H30.5.21 R1.8.17 R2.2.25 8.1 R3.2.26）
- ・H30.3.3 大瀬橋架設100年記念特別企画実施
- ・R2.2. 28 寄口橋架設100年記念特別企画実施

○団体の構成員 58 名（※A会員）

○設立年月日 平成24 年 9 月 18 日



（八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会）

2. 活動の内容

○活動の目的(目標)

八女市上陽町の石橋群は九州北部豪雨災害にも耐え、強さと美しさを兼ね備えた素晴らしい文化遺産です。令和4年度に宮ヶ原橋が架設から100年を迎えるのを契機に長年お世話になり住民生活に欠かせない石橋群に感謝の気持ちを込めて記念事業に取り組みました。

○活動の概要(どういったことをするか)

- ・石橋清掃活動
- ・石の文化に学ぼう
- ・「祝 宮ヶ原橋100年記念」横断幕設置
- ・宮ヶ原橋架設100年記念・特別企画
- ・石橋PR活動



(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

2. 活動の内容

○活動のスケジュール

日 程	活動内容	活動場所	参加者数
9～3月	石橋清掃活動 計3回9/15・10/15・3/2	洗玉橋・宮ヶ原橋	合計28人
7～3月	石の文化に学ぼう！ 計5回 7/21・7/29・10/7・11/11・3/26	ほたと石橋の館と その周辺	合計87人
10～3月	祝 宮ヶ原橋100年記念横断幕設置	宮ヶ原橋	6人
10月23日	宮ヶ原橋架設100年記念・特別企画 100年記念橋渡し・和太鼓演奏 エコバルーンを飛ばそう！ 記念講演	宮ヶ原橋とほたと 石橋の館周辺	91人
4月～3月	石橋PR活動 計3回 4/2・10/8・3/31	ほたと石橋の館と その周辺	合計40人

(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

○活動の様子「石橋清掃活動」 洗玉橋・・・9月15日(木)・3月2日(木)
宮ヶ原橋・・・10月15日(土)



○活動の様子 「石の文化に学ぼう！」

八女市スーパースクール
八女市教職員研修会
大宰府川柳倶楽部



上陽北汙学園5学年
総合学習指導10月7日(金)
学習発表会10月22日(土)



上陽お宝発見ゲーム
3月26日(日)



(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

○活動の様子「宮ヶ原橋架設100年記念・特別企画」
10月23日(日)



(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

○活動の様子 「石橋PR活動」

星野川でカヌー体験 4月2日(土)・10月8日(土)



「ひふみよ橋だより」発行



(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

3. 活動の成果と課題

<成果>

○宮ヶ原橋架設100年記念事業は、普段、なかなか光が当てられることのない「石橋」に光を当て、皆で一緒にお祝いすることで、町内外の人々に改めて石橋の文化的価値をご理解いただくだけでなく、皆で石橋を未来へ遺していこうという想いを共有する良いきっかけとなった。

<課題>

○100年記念イベント日に日本の石橋を守る会関係者の活動拠点である熊本県八代市でも別のイベントが開催されることとなり、日本の石橋を守る会からの出席がいつもより少なくなってしまった。今後は早目に日程調整していきたい。

(八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会)

4. 今後に向けて

「星野川災害復旧助成事業 宮ヶ原工区」が土木学会デザイン賞優秀賞を受賞したり、寄口橋、大瀬橋、宮ヶ原橋が国登録有形文化財に登録されることが決定したりと、令和4年度は八女上陽の「ひふみよ橋」を守る会で会員の皆が努力した活動が報われる年となりました。これを契機に、今後も地域の宝である石橋群を活かした地域活性化に、八女市役所上陽支所、上陽地区まちづくり協議会、観光協会などの関係機関と連携を図りながら取り組んでいきたいです。

令和5年度は洗玉橋が架設130年を迎える節目の年となるので「洗玉橋架設130年記念事業」に取り組む予定です。日本の石橋を守る会とも連携をとり、全国から八女の石橋に関心を持ってもらえるよう、PRしていきたいです。

茶のくに
八女・奥八女

CHANOKUNI YAME OKUYAME